

高学年分科会提案

研究主題

思考力, 判断力, 表現力の育成
～国語科「読むこと」を通して～

○目指す児童像

想像を広げて読み取ったことを伝え合う中で, 自分の思いや考えを広げることができる児童

○高学年の目指す児童像

叙述を基に想像したことを伝え合う中で, 自分の考えを広げたり深めたりする児童

○目指す児童像の捉え方

- ・物語の全体像を捉え, 学習課題の解決につながる叙述を見付けることができる。
- ・見付けた言葉や文章, 場面, 場面の相互関係を基に想像し, 自分の考えを書くことができる。
- ・考えを伝え合うことで, 自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

○高学年分科会としての取組

1 問題解決的な学習過程の工夫

- (1) **課題把握** 読みの視点を与え, 読む時間を確保することで, 課題に対して目的意識や思いをもつことができるようにする。
- (2) **見通し** 学習の流れをパターン化し, 視覚的な掲示物を用いることで物語の全体像や中心人物の心情を捉えやすくする。
- (3) **自力解決** 中心人物の心情の変化に着目させることで, 一人一人が考えをもつことができるようにする。
- (4) **共有** 考えを交流する場を(時間)を設定することにより, 児童一人一人の意見を共有したり比較したりできるようにする。
- (5) **振り返り** 毎時間めあてについて振り返り, 自分の考えの広がりや深まりについて書くことで, 児童が学習の深まりを実感できるようにする。

2 叙述をもとに想像を広げて読み, 自分の考えをまとめるための手だて

- ・模造紙に学習内容の積み重ねを書き込み, 可視化することで, 叙述や全体を捉える手掛かりにさせる。(作戦と心情の表, 情景描写とその効果の表など)
- ・中心人物の心情を読み取るために, 時を表す言葉や時間の経過に着目させる。
- ・中心人物の変容や因果関係を明確にするために, 中心人物と並行して対人物を意識させる。
- ・変容が先に読み取れる場合には, そのきっかけ(出来事)を考える学習課題を設定し, 変容の因果関係をつかめるようにする。
- ・個に応じて学習方法を選択できるようにする。(ワークシートとノートを選択・併用)
- ・自分の考えをもつことが苦手な児童に対して, めあてに迫るための手がかり(キーワード, ヒントカードなど)を示す。
- ・国語辞典を常備し, 日常から使う習慣を身に付けることで, 語彙を増やすことができるようにする。

研究授業の視点

- ・可視化した学習内容の積み重ねは, 自分の考えをもつために有効であったか。
- ・トリオトークは, 自分の考えを広げたり, 深めたりするために有効であったか。
- ・めあてについて振り返り, 自分の初めの考えと比べることは, 考えの広がりや深まりを実感できる手だてとして有効であったか。

第5学年 国語科学習指導案

令和4年11月7日(月) 5校時
調布市立飛田給小学校

研究主題	思考力, 判断力, 表現力の育成 ～国語科「読むこと」を通して～
------	-------------------------------------

- 1 単元名 物語の全体像をとらえ, やま場の場面を見つけて読もう。
教材名 「大造じいさんとがん」 椋鳩十 (教育出版)

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- 思考に関わる語句の量を増し, 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して, 語や語句を使うことができる。〔知識・技能〕(1)オ
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりするなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。〔思考力・判断力・表現力等〕B(1)ウ
- ◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり, 表現の効果を考えたりすることができる。〔思考力, 判断力, 表現力等〕C(1)エ
- 言葉がもつよさを認識するとともに, 進んで読書をし, 国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとすることができる。〔学びに向かう力, 人間性等〕

(2) 単元の評価規準

知識・技能 (知)	思考・判断・表現 (思)	主体的に学習に取り組む態度 (主)
(1) 思考に関わる語句の量を増し, 語句と語句との関係, 語句の構成や変化について理解し, 語彙を豊かにしている。	(1) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりしているなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (2) 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり, 優れた表現の与える効果について考えたりしている。	(1) 進んで登場人物の心情の変化を読み, 「やま場」の場面を見つれたり, 登場人物の心情について考えたことや自分の思いを伝え合ったりしようとしている。

3 単元設定の理由

- (1) 児童観 (児童の実態)
略

(2) 教材観

本教材は、四つの場面で構成され、作品構造が分かりやすく、あらすじをとらえやすい。また、大造じいさんの残雪に対する心情の変化が、優れた情景描写とともに描かれており、叙述と関連付けながら、登場人物の心情を読み取ったり、主題について考えたりするのに適した教材である。大造じいさんの心情の変化を友達と交流することにより、物語の読みが深まっていくと考えられる。

(3) 指導観

指導にあたっては、児童が物語の全体像をとらえ、やま場の場面を具体的に想像できるように、中心人物の心情や情景描写に着目して読み取れるようにする。そこで、自分の考えに自信をもって表現することができるように、少人数（3人）で互いに考えを伝え合える場面を多く作りたい。また、友達との意見交流を通して、考えを共有・比較することで学習の深まりが感じられるようにしていきたい。そのために、以下の手立てを立てた。

4 研究主題に迫るための手だて・分科会としての取り組み

(1) **課題** 課題に対して目的意識や思いをもって読むことができるようにする。

- ・単元のとびらから、学習課題を明確にする。
- ・教材と初めて出会う際に、挿絵を提示して想像しやすくする。
- ・初発の感想（心に残った場面・感じたことの違い）から、物語の読みのめあてをもつ。

(2) **見通し** 学習の流れをパターン化し、視覚的な掲示物を用いることで物語の全体像や中心人物の心情を捉えやすくする。

- ・単元を通して、「中心人物の心情を読み取る」→「意見交流（トリオ）」→「全体で共有」→「振り返り」の流れで学習活動を行う。
- ・挿絵や学習内容の積み重ねを記した模造紙などを掲示する。

(3) **自力解決** 中心人物の心情の変化に着目させ、一人一人が考えをもつことができるようにする。

- ・模造紙に学習内容の積み重ねを書き込み、可視化することで、叙述や全体を捉える手掛かりにさせる。（作戦と心情の表、情景描写とその効果の表など）
- ・中心人物の心情を読み取るために、時を表す言葉や時間の経過に着目させる。
- ・中心人物の変容や因果関係を明確にするために、中心人物と並行して対人物を意識させる。
- ・変容が先に読み取れる場合には、そのきっかけ（出来事）を考える学習課題を設定し、変容の因果関係をつかめるようにする。
- ・個に応じて学習方法を選択できるようにする。（ワークシートとノートの選択・併用）
- ・自分の考えをもつことが苦手な児童に対して、めあてに迫るための手がかり（キーワード、ヒントカードなど）を示す。
- ・国語辞典を常備し、日常から使う習慣を身に付けることで、語彙を増やすことができるようにする。

(4) **共有** 一人一人の意見を共有したり比較したりできるようにする。

- ・トリオトークを行い、少人数で自分の考えを伝え合う場面を設定する。
- ・発問は話し合う必然性のある内容に精査する。
- ・意見交流の際には、聞いたことに対して質問や感想を相手に伝えることで、交流が深まるようにする。

(5) **振り返り** 学習の深まりや広がりを実感できるようにする。

- ・自分の考えが深まった、広がったかについてまとめる時間を確保する。
- ・めあてについて振り返ることで、初めの自分の考えとの違いを明確にし、実感できるようにする。
- ・椋鳩十作の他の本を用意し、読み聞かせを行うことで、様々な表現の工夫を味わえるようにする。（学校図書館と連携）

5 単元指導計画【全8時間 本時 6/8】

時	主な学習活動	☆主題に迫るための手だて ◆評価規準（評価方法）
1	<p>単元のとびらを読み，学習の見通しをもつ。</p> <p>物語の全体像をとらえ，やま場の場面を見つけて読もう。</p> <p>教師の範読を聞き，初発の感想を交流する。 (1) 「大造じいさんとがん」を読み，心に残った場面や好きな表現を出し合い，感想を交流する。 (2) 物語の設定を確かめる（登場人物・中心人物）。 (3) 学習の計画を立てる。 (4) 新出漢字や語句について調べる。</p>	<p>☆単元のとびらから，物語の「やま場」を意識できるようにする。（1）</p> <p>☆大造じいさんの残雪に対する心情が分かる表現に，傍線を引きながら読むようにする。（3）</p> <p>☆初発の感想を基に学習課題を設定する。（1）（2）</p> <p>◆〔知・技〕（1） 音読や意味調べを通して，語彙の意味を理解している。（ノート）</p>
2 3	<p>大造じいさんの残雪に対する心情の変化を考える。 (1) 大造じいさんが立てた作戦を読み取り，残雪についてどう思っていたのか，表に整理する。</p> <div data-bbox="284 835 715 1070" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【★学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあての確認 ・個人読み（ワークシート） ・3人組で意見交流 ・全体で共有 ・自分の考えの振り返り </div>	<p>☆一人一人の意見を共有したり比較したりできるようにする。（4）</p> <p>☆【作戦】と【大造じいさんの心情】を表や挿絵に拡大して掲示しイメージしやすくする。（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うなぎつりばり作戦（1場面） ・たにしばらまき作戦（2場面） ・おとりがん作戦，残雪との闘いの場面（3場面） ・残雪を見送る場面（4場面）
4	<p>(2) 大造じいさんが残雪に対してもっていた思いはどのようなもので，場面ごとにどのように変わっていったのか表に書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの心情の変化に着目する。 ・表に理由を書き足していく。 ・最初と最後の場面を読み比べる。 <p>【★学習の流れ】</p>	<p>☆学習の深まりや広がりを実感できるように3人組の意見交流では，聞いたことに対して質問や感想を相手に伝えるように助言する。（5）</p>
5	<p>情景描写を見つけ，効果について話し合う。 (1) 大造じいさんの心情を表している情景描写を文中から見つける。 (2) 見つけた表現にどんな効果（良さ）があるか考え，まとめる。 ・ある時とない時とで読み比べる。</p> <p>【★学習の流れ】</p>	<p>◆〔思・判・表〕（2） 心情の変化を表す優れた叙述に基づいて，大造じいさんの心情の変化を読み取っている。（ノート・ワークシート）</p> <p>☆情景描写のある表現を例示する。（3）</p>
6 本 時	<p>物語の「やま場」はどこか，そう思った理由をまとめ，発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やま場」の場面を見つける。（第三場面） ・「やま場」だと思った理由を考え，ワークシートに書く。 <p>【★学習の流れ】</p>	<p>◆〔人間性〕（1） 登場人物の心情の変化を読み，登場人物の行動について考えたことや自分の思いを伝え合おうとしている。（ノート・ワークシート・発言）</p>
7 8	<p>大造じいさんの心情の変化について，自分の考えをノート・ワークシートに書き，友達と読み合う。</p>	<p>◆〔思・判・表〕（1） 大造じいさんの心情の変化と自分の考えが，相手に伝わるように書き表している。</p>

6 本時について（6/8時間）

（1）本時の目標

この物語の「やま場」はどこかを考え、そう思った理由をまとめ、発表し合うことができる。

〔思・判・表〕（2）

（2）本時の展開

	主な学習活動	主な発問と指示（○） 予想される児童の反応（・）	指導上の留意点（◇） 評価規準（◆）（評価方法）
導入	1. これまでの学習の振り返りをする。（主に第4時）	○大造じいさんが残雪に対してもっていた思いは場面ごとによどのように変わっていったのか。 ・残雪を捕まえられずくやしいから、正々堂々ととらえるに変わった。	◇各場面での心情が分かる表を活用し、大造じいさんの思いが視覚的に分かるようにする。
展開	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">物語の「やま場」について考え、その理由を発表しよう。</p> <p>2. この物語の「やま場」はどこかを考え、叙述を基に理由を書き出す。</p> <p>（1）第三場面を黙読し、「やま場」と思う場所に傍線を引く。</p> <p>（2）「やま場」だと思った理由を叙述から考え、ワークシートに書く。</p> <p>3. 「やま場」について友達と考えを交流する。</p> <p>（1）3人組で意見交流する。（2回）</p> <p>（2）全体で共有する</p>	<p>○「やま場」は何場面にあるでしょう。</p> <p>・第三場面</p> <p>○自分が「やま場」だと思ふところを見つけ、教科書に赤線を引きましょう。</p> <p>○その理由を考えましょう。</p> <p>・「ふたたび銃をおろしてしまった」ところ。がんを打つという最初の目的をやめたから。</p> <p>・「ただの鳥に対しているような気がしなかった」ところ。残雪に対する気持ちが変わったから。</p> <p>○自分の考えた「やま場」について、友達に伝えましょう。</p> <p>○なぜその場面にしたか、理由を伝え合ひましょう。</p>	<p>◇「やま場」とは何か、確認する。</p> <p>→中心人物の心情が大きく変化したところ。</p> <p>◆この物語の「やま場」がどこか、叙述を基に考え、まとめている。〔思・判・表〕（2）</p> <p>◇聞き手は理由を聞くなど、考えの交流がつながっていくように助言する。</p> <p>◆「やま場」がどこかについて、根拠を基に話し合っている。〔思・判・表〕（2）</p>
まとめ	4. 振り返りをする。めあてについて、自分の考えがどう深まった、広がったかについて書く。	○自分の考えがどのように深まったか、広がったかについて書きましょう。	

(3) 評価

本時の評価基準	本時の評価規準
「十分に満足できる」と判断される児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの心情が表れている叙述に着目し，物語全体を通して自分の考えをまとめ，すすんで伝え合っている。 ・自分の考えと友達の考えの共通点や相違点に気づき，自分の考えを広げたり深めたりしている。
「満足できる」と判断される児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・この物語の「やま場」がどこか，叙述を基に考え，まとめている。 ・「やま場」がどこかについて，根拠を基に話し合っている。
「努力を要する」と判断される児童の状況と手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・中心人物の心情を表す叙述や心情の変化に着目できていない。 →大造じいさんの心情が表れているヒントカードを用意する。 ・根拠を基に話し合いができていない。 →主語と根拠を表す文末が書かれているワークシートを用意する。

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ふり 返り</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">㊦ た だの鳥に 対してい るような 気がしな かつた。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">㊦ それ は，鳥と はいえ， いかにも 頭領らし い，堂々 たる態度 のようであ った。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">㊦ ふた たび銃を おろして しまった。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">やま 場…中心 人物の心 情や行動 が大きく 変わるこ ろ。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">「やま 場」はど こか考え ，その理 由を発表 しよう。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">大造 じいさん とがん 椋鳩 十 めあて</div>
--	---	---	---	---	---	--

研究協議会記録

(1) 研究協議

① 成果

- ・模造紙に学習内容の積み重ねを書き込み可視化したことは、分かりやすくよかった。
- ・ワークシートを活用することで、これまでの学習を振り返ることができてよかった。
- ・書き込みがしやすいように、教科書のコピーを渡しているのはよかった。
- ・ヒントカードがとても丁寧でよかった。
- ・トリオトークで、自分の考えを発表する場面があつてよかった。
- ・国語辞典の常備は、語彙を増やし次の学習へとつながる知識になっていくのでよい。

② 課題

- ・山場の捉え方が難しい。分科会としてはどこを捉えていたのか。
- ・これまで山場を取り上げたことがあるのか。主語を限定すると山場は絞りやすかった。
- ・大造じいさんの心情や行動が変わったところはどこかを抑えた方がよかったのでは。
- ・トリオトークで、個々の発表で終わってしまっていた。山場を選んだ理由が違った場合は、意見交換した方が考えを広げやすかったと思う。
- ・トリオトークでの感想や質問までの話型があつてもよかったかもしれない。

(2) 全体講評

- ・ヒントカードをどんな形で示すのか考えないと、子供は答えを持っていると思っていたかもしれない。「ここに気を付ける」「ここを読む」といった視点を与える。
- ・先生が答えをもっていて、その答えを当てにいくような授業にはしないように。子供が思考して、自分の考えをもてるようにしていく授業にする。課題意識を持たせるには、発問が大切になってくる。
- ・物語は、舞台（時、場）、登場人物（中心人物＝主人公、対人物、周辺人物）、出来事・事件が起こり、そこに山場（クライマックス）がある。この山場は、中心人物の心情が変化したところである。そして、最後に結末がくる。ここで余韻を残したい。構造としては、起承転結で転のところが変容である。これは、常に問いかける必要がある。高学年では、一つ一つを抑えるのではなく、全体像を捉えて授業をしていく。
- ・全体像を捉えて授業をしていくので、家庭学習の習慣化と充実化が必要。つまり、音読することで読む力につながっていく。語から語句、文、文章として読めるようにしていくことが大切である。
- ・今回の「大造じいさんとがん」の山場は、大造じいさんが「残雪をねらったが・・・」逆説の助詞に注目し、真逆なことになっているところ。中心人物が変容したところである。
- ・トリオトークは、視点を示すとよい。例えば、「同じだったら」「順位を付けると」「～に気を付ければ」「～に目を付ければ」など。
- ・子供が選んだところが見えるように、また自分の学びを振り返ることができるように、ICT の活用も効果的。